

カンボジア
中央カルダモン森林保全プロジェクト
現地からのお便り（2018年7月～2019年6月）

2019年8月
コンサベーション・インターナショナル

パトロールと違法行為への対応

この一年、CIは、42人のレンジャーが202回のパトロールを実施するのを支援しました。47個のチェーンソー、1個の銃、1台のトラック、2機の掘削機、12個の動物用の罠が押収されました。2機の掘削機が使われていた森林伐採に関連して、2件の訴訟がポーサット州裁判所に送られました。効果的な取締りが継続されており、2018年の森林減少率は0.17%と2017年の0.2%より若干低く、またカンボジアの国全体の森林減少率と比較してかなり低く抑えられています。



中央カルダモン山地国立公園で押収された掘削機

持続可能な生計手段

この一年、中央カルダモン山地国立公園の 3 つのコミュニティで、コミュニティの生計手段を多様化し、持続可能にするための支援を継続しました。プノンペンのお店とコミュニティをつないだことで、今では 30 軒以上の農家が有機の果物と野菜をそのお店に売っています。また、ジンコウ属のアガーウッド (*Aquilaria crassna*) のオイル生産のテストを継続しており、3 農家が所有する 6 本の木から 57ml を蒸留しました。この樹種はワシントン条約の対象種であり、現在輸出申請手続き中ですが、申請が許可された後、テストのために海外に送る予定です。レモングラスオイルの生産者グループの支援も続けています。グループは 10 人の女性から構成され、32 家族からレモングラスを購入し、蒸留して生産した 12.5 キロのオイルをプノンペンの有名店に約 1,500 ドルで販売しました。さらに、2 つのコミュニティによるエコツーリズムのグループにトレーニングと道具（マウンテンバイク、テント、ホームステイ用品）を提供しました。この一年の収入は 1,000 ドルだけであったとのことですが、旅行客数を増やすために地元のツアー会社との連携づくりに取り組んでいます。



Tatai Leu 村のレモングラスオイルの蒸留器 ©Conservation International/photo by Sron Chantorn



接種により樹脂生成が誘導されたアガーウッド ©Conservation International/photo by Peng Narin



ココン州のアガーウッドオイル蒸留施設 ©Conservation International/photo by Jackson Frechette

トラストファンド

2019年1月にトラストファンドの理事会を開催しました。2018年12月の株式市場の暴落により、残念ながら現地活動を支援するための利子がまったく出ませんでした。その後の株式市場の回復で、今年の後半には活動支援のための資金が生まれると期待しています。